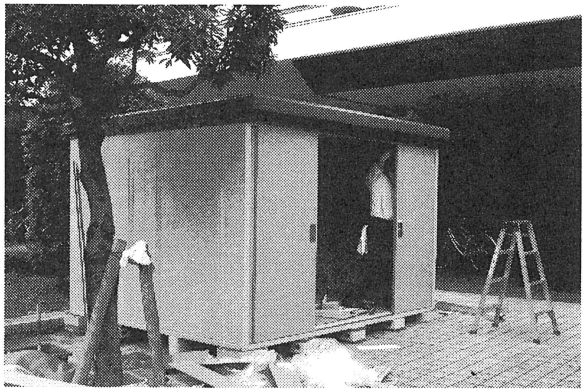




11号棟の前に設置された防災連携倉庫

ゆ り 北

第228号 (21期第4号)

発行・光が丘パークタウン
ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-11-511

TEL03 (3977) 0228番

発行責任者 塩 原 継 雄

きれいなまちづくり ゴミ出しルールとマナー

皆さんは毎日ゴミを出しますか？

ゆり北団地にはゴミ集積所が十カ所あり、ほとんどの集積所で常にゴミ満杯の状況が見られます。集積所が狭すぎるのだという声もあります。私たちのゴミの出し方に問題はないでしょうか。

ゆりの木北自治会では七月二六日(土)、賃貸住宅の共用部分の清掃に關わる「S」の作業員と懇談会を行い、その話し合いをもとに、改めてゴミ出しのルールとマナーについて考えてみました。

一、ゴミは分別して出しましょう。

先月、「資源とゴミの分け方・出し方(わが家でできる環境保護)」というチラシが、清掃事務所から各戸に

配布されましたので参照してください。

まず、「燃やすゴミ」と「燃やさないゴミ」とに分別することは最低限のルールです。「混合ゴミ」は収集されず積み残されますから、作業員が袋を開けて分別し、出し直しています。さらに、「資源」を分別することでゴミを大幅に減らすことができます。

二、ゴミは曜日と時間を考えて出しましょう。

ゆり北では、集積所にコンテナが常設されているため、いつでも気軽にゴミを出してしまいがちです。しかし、「ゴミ集積所」は「ゴミ捨て場」ではないのです。

「燃やすゴミ」は月・木曜日に「燃やさないゴミ」は金曜日に収集されます。収集が終わった集積所から順に、清掃作業員がコンテナを洗うなど集積所の清掃を行います。ところが収集から清掃までのちよっとの間にゴミを放り込んでいく人や、清掃作業中にゴミを置いていく人もいます。せめて、清掃が終わるまではゴミを出さないようにしたいものです。

本日は収集日の朝にゴミを出すよう心がければ、ゴミ山積の時間が短縮し、ゴミを狙うカラスや猫や人による散乱被害も防止できるのではないのでしょうか。

三、粗大ゴミは、ルールを守って出しましょう。

不法投棄は、さらなる不法投棄を呼びます。怪しい人や車を見かけた場合は一一〇番してください。(生活環境部)

深夜三時二〇分に 防犯防災部役員宅の電話が鳴った

八月七日(木) 午前三時二〇分頃、防犯防災部役員宅に突然の電話があった。慌てていたのか氏名は名乗らず、「十三号棟付近で非常ベルが鳴っているの、防犯防災役員の方で即対応を」と有無を言わせぬ要求がありました。光が丘のCIS等に直接連絡をとって下さいと言っても取り合えず、調べますからと答えた後、電話は切れました。

その後、塩原会長はじめ役員三名で一三、一四号棟を調べましたが、非常警報装置のボタンが押された形跡はありませんでした。他の居住者が非常警報装置の鳴っているのを聞いたと答えていますので、何かが鳴

っていたのは間違いないでしょう。光が丘CISに問い合わせましたが、一三、一四号棟の非常警報装置を受信した記録は無いとの事でした。

スーパ―「よしや」は警備会社に依頼していますので、調べてもらいましたが、非常ベルが鳴った形跡は無いそうです。

団地内では音が反響するため、音源が正確につかめない時があります。

むつみ台の方で鳴っていたとの話もありましたので、むつみ台自治会にも問い合わせましたが、非常警報装置が作動して鳴っていた事実はないそうです。

夜間パトロール 中間報告

恒例の夜間パトロール、今年も七月十九日(土)から始まりました。

八月二十日までの五回の内一回は雨で中止となりましたが、毎回多数の参加で力強いパトロールとなっています。今期新しく自治会役員・世話人・管理組合理事になられた方は普段にしない場所や放置物を発見したり、訪問先表示の無い不法駐車やホームレスの寝泊りの跡等に驚きと興味をもたれ、集合生活の難しさを再確認されています。「パトロール記録」を見て気になる事、三点は次の通りです。

一、十四号棟東側に二台の長期放置車両が二台ありました。
(公団に対処を申入れます。)

二、十号棟西側「犬走り」にホーム

レスの寝泊り用?のシュラフ、布シート、ダンボールを二回発見しました。(ゴミとして処分しました。)

三、各所で放置バイク・自転車、合計十数あり。(一部部外者があります。が、殆どは居住者用と思われる。)

(自己責任での処分をお願いします。)

*七、八月にゆり北商店会の二店舗が夜間盗難被害にあっています。不審者、異常を感じた時は一一〇番を！

(防犯防災部)



不法駐車(ゴミ集積場の入り口で)

かなくてはなりません。自治会役員は住民の皆様方の様々な相談、質問にお答えするように努めておりますが、深夜の緊急事態の際には、まず公共機関にご一報下さい。

光が丘パークタウン中央監視室(光が丘CIS)
電話三九七七一・二九九五

防災倉庫設置される



かねてより公団に要望していた防災倉庫がようやく八月二六日に設置されました。

場所は十一号棟入口の左側で、右側の区の防災倉庫と共に、防災の拠点となります。

防災備品(発電器 投光器 テント 炊き出し用具一式 リヤカー)

八ヶ岳の思い出

板橋子どもキャンプに
行ってきました

石井 美久

わたしは、八ヶ岳のキャンプは、今日で二回目です。今年の班は五班で班名が、ふくら五班でした。六年生が男の子一人で五年生は男の子が一人で女の子が三人で四年生は男の子は一人で女の子が一人でした。私の班は七人でした。

一日目はオリエンテーリングをしました。西岳の五つのチェックポイントをまわります。最初がんびりすぎて、制限タイムより三十分も早すぎたため、減点されてしまい八班中八位に終わってしまいました。夕食を食べてからキャンプファイヤーをしました。ダンスをしたり歌を歌ったり花火をしました。

楽しみにしていた川遊びがありました。ハイキングで川まで行きました。川の水がすごく冷たくて、体じゅうが冷たくなってしまいました。その川にはお玉じゃくしが泳いでいました。川の中にトマトが冷やしてあり、そのトマトを昼食の時に食べました。つめたくなっていて、おいしくておいしくて三つも食べてしまいました。そしてスイカわりをしました。めかくしをして三回以上まわってから、みんなの声をたよりにして進んでいきました。でもみんなウソを言っていたのです。でもスイカをわることができました。おいしくてあまいスイカでした。夕食を終わってからナイトウォーク。きもだめしかと思っていたらただの夜のさんぽでした。



比留間 咲穂

去年八ヶ岳キャンプにいった、新しい友達ができ楽しかったので、今年も参加しました。

二日目は、川に行くまでは長ソデ長ズボンだったので暑かったです。川について、お昼ごはんをいそいで食べて、きがえて川遊びをしました。川の水はとてもきれいで、つめたく、水に足を入れていたようでした。あまりにつめたかったので足が痛くなりましたがたのしかったです。しかしちかくのトイレは暗くて、ガや虫がたくさんいて、あまり入りたくなかったけど、けつきよく入って手洗いそいであらいだっしゅで出ました。

ゲームやシャボン玉をやったり、スイカ割りをしたり、川の生物の観察をしたりしました。それで宿に帰って、夜ナイトウォークをしました。班ごとにしたので、でもとてもよかったです。出になりました。

専門部 生活環境部

きれいな町づくりをスローガンに、次の活動を行っています。

- (一) 清掃活動により、環境美化に努めます。
- (二) エコポリスセンターの活動に、積極的に参加します。
- (三) 清掃担当者との話し合いに基づき、ゴミ出しルールとゴミ置場の美化について呼びかけを行います。
- (四) ゴミのリサイクル活動により、ゴミ減量化を呼びかけます。
- (五) 放置自転車と駐輪場について、対策を検討します。

文化部

楽しいゆりの木北団地を目指して、主に次の活動をしています。

- (一) 自治会の二大行事である夏まつり、文化展を主導的に企画、運営します。
- (二) 板橋区青少年健全育成下赤塚地区実行委員会(略して青健)の活動に、積極的に参加します。
- (三) 群馬県小野上村との交流を深めます。
- (四) 団地独自の花見を企画します。
- (五) 自治会備品(キャンプ用品等)の貸出管理を行っています。

広報部

ゆりの木北自治会の活動を、団地内外にお伝えするために、また会員交流の場として、広報紙「ゆり北」を毎月発行します。

福祉部

- (一) 九月一日に長寿を祝う集いを開催します。
- (二) 高齢化対策として、次の調査活動を行います。

老人保健施設のサービス内容
他団地でのボランティア活動
介護保険など

尋ね人

転出した役員OBを捜しています。

十一月に開催する自治会結成二〇周年行事に、転出した役員OBにもご案内を差し上げるべく転居先を調べておりませんが、次の方々の現住所がわかりません。ご存じの方がいらっしゃいましたら、二〇周年実行委員会の辛島(六―三〇七)までお知らせ下さい。(一)内の住所は、ゆりの木通り北団地在住当時のものです。

自治会結成二〇周年記念

第四回 災害に強いまちづくり 吉柳俊孝

自治会活動の柱の一つに「安全」な街づくりがあります。安全の一つは防犯です。団地は鋼製のドア一枚で隔絶される安全がある反面、密室化する危険もあります。また、通路、階段など「構造上の死角」も少なくありません。昼間は多くの方が仕事に出られており、人通りが絶える「死角の時間」があります。小学生・中学生・高校生などを狙ったわいせつ犯罪が多発しました。PTAなどと協力して薄暮のパトロールを実施し、警察の協力を得て「防犯懇談会」を夏休み前に行っています。残念ながら「もぐらたたき」のように、なかなか後を絶ちません。

二〇〇〇年頃からは、ピッキングと呼ばれる空き巣が近隣で多発し、ゆり北でも被害が出始めました。管理組合では「二重錠」の斡旋を行い、自治会では公団に対し対策を要望しました。開けにくいシリンドー錠への取替えは模様替え申請で行えるようになりましたが、二重錠は本社協議となっています。早期の改善が望まれます。

二十一年間で火災は毎年一件から二件発生しました。全焼は一件ですが、てんぷら火災や煮焦がしが多く、車両放火も二件ありました。「防災」への取組みの一つがこうした火災対応です。毎年防災訓練を管理組合と共に実施してきました。団地入居二年目に三三番地で行った訓練には四百名余の参加がありましたが、その後は参加者の減少があり、現在では百名程度で推移しています。

- 佐藤光子 (二―二〇二)
佐藤慎男 (二―三三三)
綿村悦子 (二―七〇二)
増田和子 (二―七〇五)
小林健三 (二―七〇七)
太佐順一 (二―三三〇五)
堤達 (二―四四〇九)